

愛知県がんセンター

がんセンター

NEWS Aichi Cancer Center NEWS

2023年
7月
vol.85

発行 愛知県がんセンター Tel. 052-762-6111(代)

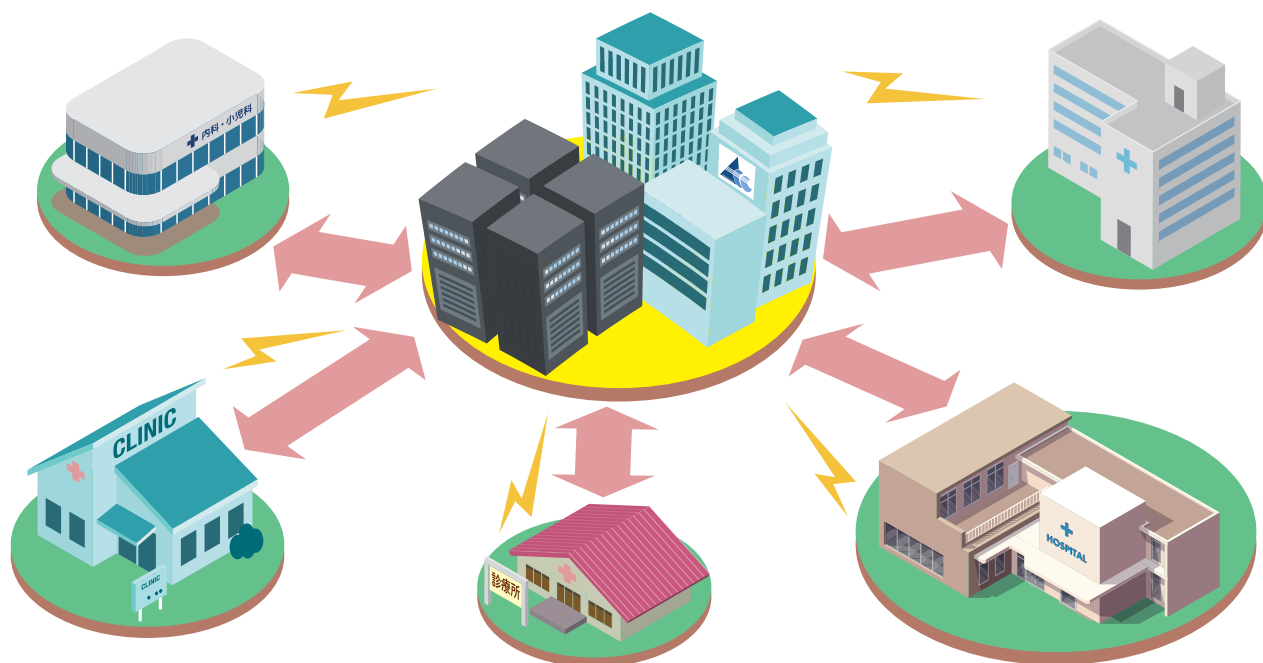
今号のニュース MDアンダーソンがんセンター (テキサス州立大学)との連携(2ページ) 坂倉部長のごあいさつ(2ページ)

がん相談支援センターのご紹介(3ページ)

24時間365日対応のWEB予約システムの導入(3ページ)

病院トピックス 手術部長 伊藤 誠二 安全な手術を目指して(4ページ)

研究所トピックス 研究所副所長 兼 がん病態生理学分野長 青木 正博 がん悪液質の克服を目指した研究(5ページ)



【栄養管理部おすすめメニュー】
ズッキーニの冷製ポタージュ(4ページ)

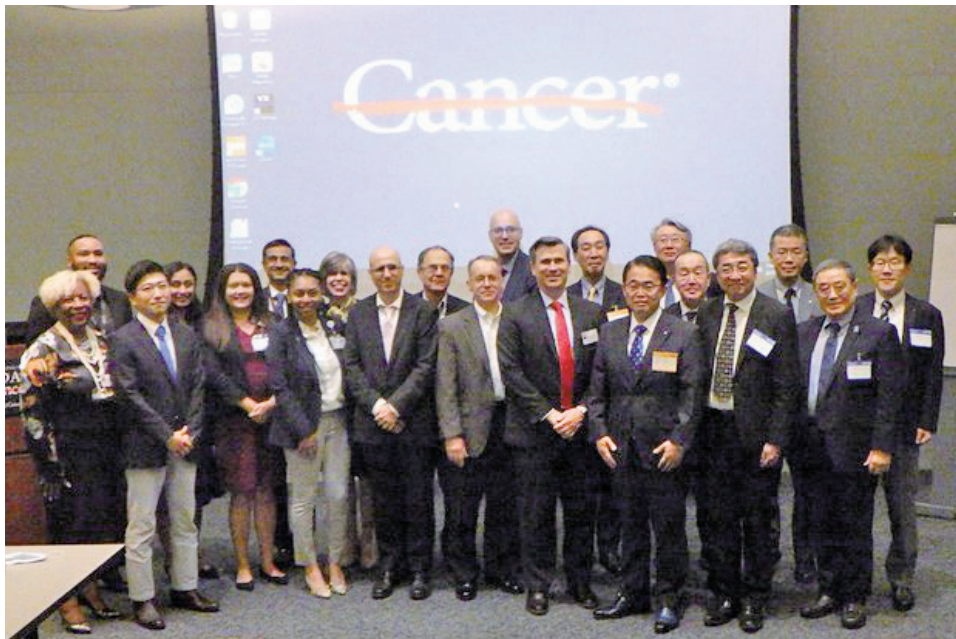
【シリーズ:とうろく医探訪】No.28
大鹿耳鼻咽喉科 院長:大鹿 正紀 先生(6ページ)

【イベント・講座インフォメーション】
中部地区がん医療連携学術講演会のお知らせ(7ページ)
本年もラベンダーリング開催!(7ページ)
公開講座年間スケジュール(7ページ)

MDアンダーソンがんセンター (テキサス州立大学) との連携

愛知県がんセンターは、1964年の開設以来、病院と研究所が連携した総合がんセンターとして、最新の研究成果を発信するとともに、常に「患者さんの立場にたって、最先端の研究成果と根拠に基づいた最良のがん医療の提供」を理念としてきました。

今回、この理念をさらに推進するために、アメリカ・テキサス州ヒューストンにあるテキサス州立大学MDアンダーソンがんセンターを愛知県知事と共に訪問し、連携の協議をしました。テキサス州は、トヨタ自動車をはじめとして、愛知県から多くの企業が進出しており、愛知県とはすでに「友好交流と相互交流に関する覚書」を交わしています。今回の訪問で、愛知県とアメリカ・テキサス州は覚書に医療分野を盛り込み、連携推進をはかることを確認しました。



MD アンダーソンがんセンターの方々との記念撮影

今後、愛知県がんセンターとMDアンダーソンがんセンターが、「共同研究」「人事交流」「シンポジウムの共同開催」を通じて連携することで、国際的な視野を含めて、愛知県がんセンターを発展させ、最新・最良のがん医療を提供していきたいと考えています。



MDアンダーソンがんセンターについて

MDアンダーソンがんセンターは、米国テキサス州ヒューストンにあるテキサス州立大学のがん専門施設で、がん患者さんの治療、研究、教育および予防にフォーカスした世界で最も優れた施設の1つです。そのミッションは、世界中の患者さんとそのご家族からがんをなくすことを掲げており、「Cancer」に赤い取り消し線を施しているMDアンダーソンのロゴはその決意を表現しています。
(<https://www.mdanderson.org>)

呼吸器外科部長就任のごあいさつ

坂倉 範昭



2023年6月1日より呼吸器外科部長を拝命いたしました坂倉範昭と申します。早期から進行した病態まで、また胸腔鏡・ロボット低侵襲手術から高難度拡大手術まで、幅広い手術を実施してまいります。困難な病態でも様々な視点から考え工夫して最善策を見出すことを心がけます。患者さんと連携医療機関の先生方、愛知県がんセンターのために尽力いたします。どうぞお力添えいただきますようお願い申し上げます。

主な資格

日本外科学会専門医・指導医、呼吸器外科学会専門医・評議員、
ロボット外科学会専門医、ロボット手術プロクター、胸腔鏡安全技術認定医

がん相談支援センターを

ご利用ください

地域医療連携・相談支援センター
室長補佐 野崎 由美子

がん治療の進歩とともに患者さんの療養生活は多様化しており、それにともない、患者さんやご家族が抱える悩みや問題も多岐に渡っています。

私達「地域医療連携・相談支援センター」内(外来棟2階)にある「がん相談支援センター」ではそのような様々な悩みを抱える患者さんやご家族のご相談に面談、電話、メールにて対応しています。当院に通院される方のみならず、どなたでも無料で秘密厳守にてご相談に応じております。また、がんに関連する

資料も手に取ってご覧いただくことができます。

「がんと診断されたけど、どうしたらいいのかわからない」と、ご相談の内容がまとまっていなくても大丈夫です。お一人で抱え込まず、まずはご相談ください。

今年度から、地域医療連携・相談支援センターの職員はミントブルーのユニフォームを着用しています。院内でこのユニフォームを着た職員を見かけましたら、お気軽にお声掛けください!



地域医療連携・相談支援センターの集合写真



当院医師作成によるポスター

24時間365日対応のWEB予約システムの導入

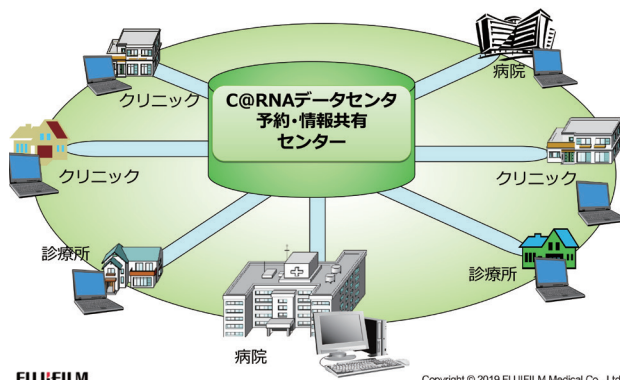
地域医療連携・相談支援センター室長 伊藤 友一

愛知県がんセンターは約1300の医療機関(大学病院・総合病院・クリニック等)から年間約6000名の患者さんの紹介を受けています。これまでの予約業務は全て「FAX紹介」となっており、予約受付時間は月曜日から金曜日9~19時、土曜日9~13時で、なるべく早い対応を心がけておりましたが、FAX返信までに約15分要しておりました。

そこで今夏の電子カルテ更新に伴い、富士フイルムメディカル社の地域医療連携サービス「C@RNA Connect(カルナコネクト)」を導入し、24時間365日いつでもFAXの返信を待たずに予約できる体制を整えます。

当院では初診、内視鏡・大腸CT検査がこのシステムで予約可能となります。地域医療機関の皆様から当院の「C@RNA Connect」にお申し込みしていただければ、インターネットに接続できるパソコンを用いて無料で利用できます。

なお登録医療機関からの予約のみで患者さんが直接予約することはできません。運用の詳細は改めて各医療機関の皆様にご案内させていただきますので是非ご活用ください。今後も愛知県がんセンターは紹介しやすい、頼りになるがんセンターを目指していきます。



地域医療連携サービス「C@RNA Connect」の概要

安全な手術を目指して

手術部長 伊藤 誠二



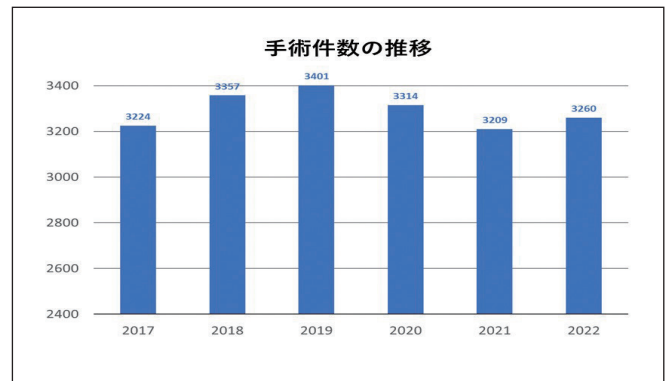
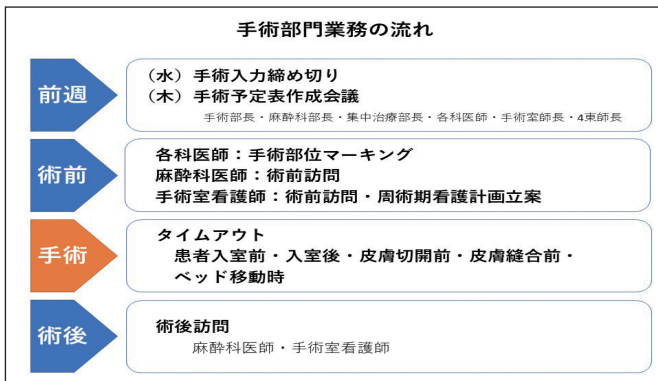
手術治療は放射線治療、がん薬物療法と並んでがん治療の三本柱のひとつで、当センターにおいても、がんの根治、症状緩和を目的として、日々、多くの手術が行われています。当センターでは、これまでのがんセンターNEWSでもご紹介させて頂いてきたように、ロボット支援手術、ニューロナビゲーションシステムを用いた脳腫瘍手術、光免疫療法を用いた頭頸部がん治療など、さまざまな最新の治療を行っております。また、最新の治療に限らず、標準的な手術治療においても、各分野に精通した専門性の高い外科医が手術を担当しております。

その一方で、手術というのは健康な組織に傷をつける侵襲的な一面も持っており、数多くの手術治療を安全に行うために、手術部としてさまざまな「しくみ」を構築しています。術前には、

主治医による病変、全身状態の評価に加え、麻酔科医師による全身評価が行われ、患者取り違え防止のための手術部位のマーキング、手術室入室後は全員が手を止めて執刀医が患者、手術部位、術式を声に出して確認するタイムアウトを定型化、術後には麻酔科医師や手術室看護師による術後訪問も行っています。

近年、保険適用の拡大に伴ってロボット支援手術の件数もますます増加してきており、毎月ロボット手術事例報告会を行っております。ハイリスク手術症例については、事前に多職種のカンファレンスで手術適応、安全に手術を行うための準備を検討しています。このように、安全な手術に向け努力を重ねております。

手術治療が必要な患者さんがありましたら、ぜひ、当センターへご紹介ください。



栄養管理部おすすめメニュー

調理師：滝澤幸二 管理栄養士：嘉津山瑞恵

「ズッキーニの冷製ポタージュ」

- 材料(4人前)
- ★ズッキーニ 1本
 - ★玉ねぎ 1/4個
 - ★オリーブオイル 大さじ1
 - ★水 200ml
 - ★コンソメキューブ 1個
 - ★甘酒 100ml
 - ★牛乳 100ml
 - ★生クリーム 100ml
 - ★塩、胡椒 少々

- 作り方
- ①ズッキーニと玉ねぎを薄切りにする。
 - ②鍋にオリーブオイルをひき、①をしんなりするまで炒める。
 - ③水、コンソメを加えてひと煮立ちさせ、蓋をして弱火で5分煮込む。
 - ④粗熱がとれたら、甘酒を加えブレンダーにかける。
 - ⑤④を鍋にもどし、牛乳、生クリームを加え軽く温め、塩・胡椒で味をととのえる。
 - ⑥冷やして器によそう。お好みで生クリームをかける。

ズッキーニの旬は初夏～夏です。煮ても焼いても生でもおいしいズッキーニを今回は冷製スープにしてみました。食欲のない暑い日にもおすすめです。





がん悪液質の克服を目指した研究

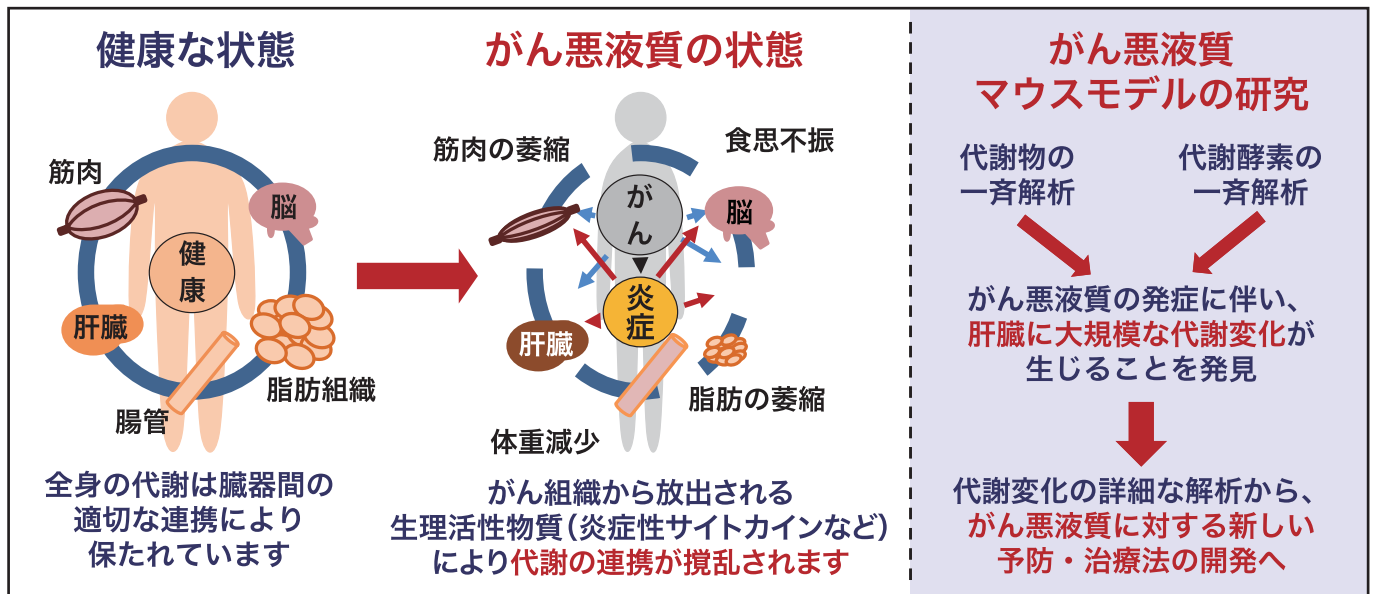
研究所副所長 兼 がん病態生理学分野長 青木 正博

悪液質とは、がんや心不全の患者さんなどにみられる、筋肉量の低下を伴う栄養不良の衰弱した状態を指す医学用語で、がん患者さんに生じる悪液質を特に「がん悪液質」と呼びます。がん悪液質を発症すると、筋力低下により移動が制限され、食物を飲み込むのが困難になり、顔つきも変わり気分が落ち込むなど、生活の質が著しく低下し、がんに対する積極的な治療を妨げることから、がんと共に生きる時代に医学が克服しなければならない重要な課題と言えます。

がん悪液質では、がんと炎症によって複合的な代謝異常が生じるとされますが、その原因や本質は未解明で有効な治療法もありませんでした。最

近、アナモレリンという食欲を促進させる薬が、がん悪液質に使用できる初めての薬として日本で承認され、さらなる治療戦略の開発が待たれています。

私たちは、がん悪液質を発症するマウスを用いて、生体内の代謝産物や、代謝酵素を含むタンパク質の変動を一斉に分析する最先端の手法を用いた研究を実施し、がん悪液質を発症すると肝臓に大規模な代謝変化が生じることを発見しました。この代謝変化をより詳しく解析することで、がん悪液質の予防・治療法の開発を目指しています。



愛知県がんセンターへの寄附金についてのお知らせ

愛知県がんセンターでは、医療体制の充実や研究促進のため、寄附金の受け入れをしております。いただきました寄附金につきましては、がんセンターの医療・研究機器や設備の充実、がん克服に向けた研究推進などに使用されます。皆さまのご理解、ご厚志をお寄せいただけますようお願いいたします。

寄附・アンケートについてのお問い合わせ先

愛知県がんセンター運用部経営戦略課企画・経営グループ
〒464-8681名古屋市千種区鹿子殿1番1号
電話/052-762-6111(代) FAX/052-764-2963
最終面右上に掲載のホームページアドレス、QRコードをご覧ください

アンケートのお願い

がんセンターNEWSの誌面を魅力的なものにするにあたり、皆様の貴重なご意見を参考にしたいという考えから、読者アンケートを実施することになりました。たいへんお忙しいところ誠に恐縮ではございますが、皆様からのご回答を、心よりお待ち申し上げます。

アンケートの回答はこちらから

※5分程度でお答えいただけます。締切は8月31日(木)といたします。

▼▼▼PCの方はここから▼▼▼

 <https://cancer-c.pref.aichi.jp/ques/questionnaire.php?openid=28>

スマートフォンの方は▼▼▼ここから▼▼▼

大鹿耳鼻咽喉科 院長:大鹿 正紀 先生

愛知県がんセンターの皆様方には病診連携を通じ日頃より大変お世話になっております。大鹿耳鼻咽喉科は昭和45年に先代が開院し、34年後、地下鉄名城線自由ヶ丘駅が誕生した2ヶ月後の平成16年に現在位置する自由ヶ丘駅前自由ヶ丘プラザ内に移転しました。その際院長に就任し、おかげさまで20年目を迎えることができました。スタッフ一同、来院された方が少しでも笑顔になっていただけるように心がけて診療しております。

耳鼻咽喉科領域の咽頭がん・喉頭がん・舌がんなどの「頭頸部がん」は全てのがんの5%弱と多くはありません。ですが、耳・鼻・口・舌・のど・唾液腺といった様々な機能を持つ部位であり、なおかつ脳や眼に近い部位であることから、進行すると多彩な機能（聴く・嗅ぐ・味わう・話す・食べる等）の障害が発生するとともに、顔や首の整容に問題が生じ、命に関わることも少なくありません。

そのため早期治療に繋げることができるよう尽力いたしております。これまでも疑いがある患者様をがんセンターに紹介させていただき、迅速・的確かつ丁寧な診療が本当に心強く、大切な患者様をお願いできたことを有り難く思っております。

今後もがんセンターとの連携をいっそう深め、地域医療に貢献して参りたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いたします。



医療機関情報

おおしか 大鹿耳鼻咽喉科

診療科目 耳鼻咽喉科・小児耳鼻咽喉科

電話 052-761-2784

所在地 〒464-0044
名古屋市千種区自由ヶ丘 3-2-27-104

ホームページ <http://ooshika-jibika.com/>
右記の二次元コードからでもアクセスできます▶



予約受付 直接来院 8:30~12:00・15:30~19:00

web予約 8:00~11:30・15:00~18:30

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
9:00~12:20	●	●	●	/	●	●	/
16:00~19:20	●	●	●	/	●	/	/

●診療日 / 休診日



地下鉄名城線自由ヶ丘駅2番出口から徒歩30秒

編集後記

第28回は、当院から最も近い耳鼻咽喉科、大鹿耳鼻咽喉科の大鹿正紀先生です。地下鉄名城線・自由ヶ丘駅上、さらに、自由ヶ丘プラザ駐車場（105台共用）も使用可能という超好立地にあります（おまけにスーパーも郵便局もATMもあります）。黄色の看板、大きな角の可愛い牡鹿が目印です。WEB予約や、利用可能なカード情報、診療案内の混雑表など、小さなお子さんへの細やかな配慮も感じられるホームページも必見で、優しさを感じます。これからもよろしくお願いたします。 y.sano

イベント・講座インフォメーション

中部地区がん医療連携 学術講演会のお知らせ

近隣の医師会、歯科医師会、薬剤師会のご協力のもと、医療従事者を対象に「第19回中部地区がん医療連携学術講演会」を開催します。講演会では、最新のがん医療を紹介いたします。

日時

令和5年8月5日(土) 16時～

会場

メルパルク名古屋

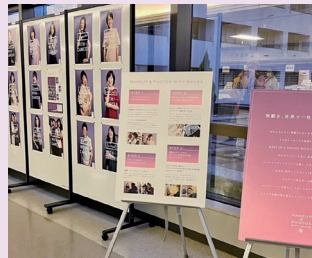
※呼吸器内科部長藤原医師による特別講演を行います。



前回(第18回:R5.2.25開催)の様子

本年もラベンダーリング開催!

がんを経験したがんサバイバーの皆様の「その人らしいメイクとイキイキとした笑顔」を撮影するLavender Ring Makeup & Photo with Smilesを今年も6月24日に開催しました。今年は9月17日・18日にイオンモールナゴヤドーム前1階ノースコートイベントブースで撮影したポスターを展示し、さらに当院スタッフによるイベントを開催予定です。ぜひお誘い合わせのうえご来場いただければ幸いです。お待ちしております。



令和5年度 愛知県がんセンター公開講座(オンデマンド配信)

回	配信・申込期間	演目	演者
3	2023年 9月8日(金)12時 ～25日(月)12時	テーマ「近未来の医療につながる最前線のがん研究」 1 薬物送達システム(DDS)を応用した癌治療研究の最前線 2 遺伝子変異と細胞がん化 ～中皮腫の最新研究～ 3 エクソソームによるがんの診断と治療に向けて 4 加速するAIと医療の融合	司会 副所長兼分子腫瘍学分野長 関戸好孝 1 腫瘍免疫制御TR分野 村岡大輔ユニット長 2 分子腫瘍学分野 佐藤龍洋主任研究員 3 腫瘍制御学分野 小根山千歳分野長 4 システム解析学分野 山口類分野長
4	2023年 11月10日(金)12時 ～27日(月)12時	テーマ「がんゲノム医療：治療と予防に役立てよう」 1 ゲノム情報を治療に役立てる 2 ゲノム情報を予防に役立てる 3 治験に参加して 4 遺伝性腫瘍と診断されて 5 パネルディスカッション	司会 ゲノム医療センター長 衣斐寛倫 1 ゲノム医療センター 能澤一樹医長 ゲノム医療センター 山口真澄専門員 2 乳腺科部 吉村章代医長 3 治験患者 4 遺伝子腫瘍患者 5 演者全員
5	2024年 2月2日(金)12時 ～19日(月)12時	テーマ「非小細胞肺癌診療：最新知見について」 1 非小細胞肺癌に対する外科手術の進歩 2 非小細胞肺癌の術前・術後治療の進歩 3 肺癌に対する高精度放射線治療の現状 4 上昇した5年生存率を支える進行肺癌の治療	司会 呼吸器内科部長 藤原豊 1 呼吸器外科部 坂倉範昭部長 2 呼吸器内科部 清水淳市医長 3 放射線治療部 古平毅部長 4 呼吸器内科部 堀尾芳嗣医長

◇視聴料：無料(ただし、通信料は自己負担願います。)

◇視聴方法：事前申込が必要

※事前に愛知県がんセンター web 公開講座ページにある事前申込フォームよりお申し込みください。


YouTube によるオンデマンド配信です。事前申込みの方には、視聴するための URL をメールにてお送りします。都合により予告なく中止、講演内容等の変更をすることがあります。

◇視聴対象者：どなたでも事前申込のうえ、視聴できます。なお、視聴するためのインターネット環境が必要です。

公開講座の問い合わせ先

〒464-8681 名古屋市千種区鹿子殿1番1号
愛知県がんセンター運用部経営戦略課 公開講座係
TEL: 052-762-6111(内線2511・2521)
FAX: 072-764-2963
愛知県がんセンター web ページ(公開講座)
<https://cancer-c.pref.aichi.jp/site/folder6/3975.html>



医療連携のご案内		寄附のお願い
対応時間	月曜日～金曜日 午前9時00分～午後7時00分 土曜日 午前9時00分～午後1時00分 (祝日、年末年始を除く)	詳細は ホームページの 「寄附のお願い」を ご覧ください  スマート フォンの 方は こちらから
電話	052-764-9892 (直通)	
FAX	052-764-9897 (24時間稼働しております。)	
ホームページ	https://cancer-c.pref.aichi.jp 「医療関係者の方へ」-「医療連携」をクリックしてください。	
		PCの方は こちらから https://cancer-c.pref.aichi.jp/site/folder17/

外来診療担当表	
受付時間	午前8時30分から午前11時30分 (都合により診察医の変更あるいは休診の場合があります)
休診日	土、日、祝日、年末年始

※(SO)はセカンドオピニオン診療だけの場合に表します。 ※(初)-(初診)・(再)-(再診)・(非)-(非常勤) 2023年7月1日

診療科目	月	火	水	木	金
総合初診	稲葉	原	室	堀尾	田近
消化器内科	原(初) 田中(初) 奥野 田近(SO)	原 田近 山田(初) 桑原	原 羽場 田近(SO) 山雄(SO)(非) 伊藤	丹羽(初) 水野(伸) 奥野 田中 伊藤<午前>(初)	田近(初) 水野(伸) 山田(初) 桑原 羽場 田中/山田<午後>(SO)
呼吸器内科	渡辺(初) 山口(再) 堀尾(再)	藤原(初) 山口(再) 渡辺(再) 松澤(初)	清水(淳)(初) 藤原(初) 松澤(再)	山口(初) 堀尾(再) 清水(淳)(再) 渡辺(再)	堀尾(初) 山口(再) 藤原(初) 松澤(再)
循環器科	木村	佐藤		木村	
血液・細胞療法	川口(初・再) 柳田(再)	鏡味(初・再隔週) 山本(一)(初・再) 楠本(初・再) 森島(SO)(非) 大野(随時)	川口(再) 齋藤(初・再) 森島(SO)(非) 大野(随時)	楠本(初・再) 齋藤(再) 大野(随時)	柳田(初・再) 山本(一)(再)
薬物療法	安藤(初) 室(初) 舛石(初)	門脇(初) 谷口(初) 本多(初)	室(初) 本多 成田(初)	谷口(初) 門脇 舛石(初)	安藤(初) 門脇(初) 谷口(初) 成田(初)
頭頸部外科	花井(再) 寺田(第1・3・5週)(再) 別府<午前>(初・SO)	鈴木(再) 西川(第1・3・5週)<午前>(再) 別府(第2・4週)(再) 寺田<午前>(初・SO)	花井<午前>(初・SO) 岸川(再)	花井(第2・4週)<午前>(再) 寺田(第2・4週)<午後>(再) 寺田(第1・3・5週)(再) 西川(再) 鈴木<午前>(初・SO)	別府 岸川(第1・3・5週)<午前>(再) 鈴木(第2・4週)<午前>(再) 西川<午後>(初・SO)
形成外科	高成/中川路 奥村	高成 奥村 丸山	高成(第1・2・3・5週) 丸山 中川路(第4週)	高成 奥村 丸山	
呼吸器外科	則竹(初)	交代制(坂倉、瀬戸、 則竹、岩清水)(初)	坂倉(初)		瀬戸(初)
乳腺科	片岡(再) 小谷/遠藤(初) 澤木(再) 岩田<午後>(SO)	岩田(再) 吉村/片岡(初) 服部(再) 能澤(再)	小谷(再) 服部(初) 吉村(再) 岩田<午後>(SO)	小谷(再) 岩田(初) 能澤(再) 安藤(再) 澤木(正)(再)	服部(再) 澤木(初) 吉村(再) 岩田<午後>(SO) 片岡(再)
消化器外科	榎垣<午前> 安部 伊藤(誠)(第1・3・5週) 三澤(第2・4週) 木下(敬)(第1・3・5週)	三澤 木下(敬) 奥野(正)	小森(康) 伊藤(友) 清水(泰)	夏目 伊藤(誠) 大内 安部(初)	佐藤 安部<午後>(SO) 浅野(初) 藤枝
整形外科・ サルコマーセンター-外来	濱田(初) 筑紫(初) 吉田(雅)(初)	筑紫(初)	吉田(雅)(初)		濱田(初) 藤原(初)
脳神経外科	灰本<午後>		大野	灰本	大野
泌尿器科	小島(初) 加藤 田中		小島 加藤(初) 北野	担当医(初)	北野(初) 加藤 田中(初)
婦人科	森(初)	鈴木(初) 渡邊 小島(初)	安井(初) 小島(初)	鈴木(第1・3・5週)(初) 森(第2・4週)(初) 森(第1・3・5週) 安井(第2・4週)(初)	渡邊(初)
放射線診断科	稲葉(初) 村田	今峰	稲葉(初) 山浦	佐藤	稲葉 加藤(弥)
放射線治療科	古平(初) 立花(再) 小出(再)	古平(再) 立花(初) 小出(再) 橋本(再)	古平(初) 立花(再) 橋本(初)	古平(再) 小出(初) 橋本(再)	古平(初) 立花(初) 小出(初) 橋本(初)
精神腫瘍科	小森康永(予約のみ)	小森康永(予約のみ)	小森康永(予約のみ)	小森康永(予約のみ)	小森康永(予約のみ)
緩和ケア科・ ペインクリニック	下山<午後>	下山<午前>	下山<午後> 木村<午後>(非)	下山<午前>	下山<午後> 長谷川(非)
遺伝カウンセリング	井本	井本	井本	井本	井本
がんゲノム外来	能澤	衣斐	能澤	新津	足立

※現在は、当院受診中の患者さんのみ受け付けております。

糖尿病外来	細川<午後>			細川<午後>	
腎臓内科				担当医<午後>	
皮膚科	森	森	堀崎(非)	森	
眼科		立川(午前のみ)(非)			立川<午後>(非)
リンパ浮腫		鍋谷<午前>		中川路<午前>	

※再診予約制：診察券をお持ちの方は、診察予約をしてください。052-764-2911 (直通) 午前9時～午後5時 (土・日・祝・年末年始を除く)

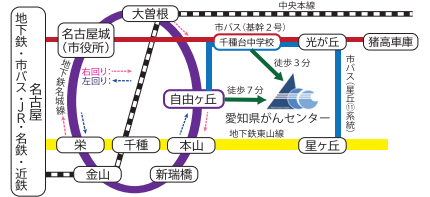
※セカンドオピニオン外来は、全科で対応しています。(完全予約制・自由診療)


★公共交通機関のご案内

- 地下鉄利用 名城線「自由ヶ丘駅」2番出口から徒歩7分
- 市バス利用 基幹2系統・星丘11系統「千種台中学校」下車徒歩3分

★車でのアクセスのご案内

- 一般道路 本山交差点から北へ約7分、平和公園の北西
- 高速道路 東名高速道路「名古屋IC」から西へ約15分
名古屋高速「四谷出口」から北へ約10分





愛知県がんセンター 〒464-8681 名古屋千種区鹿子殿1番1号 TEL052-762-6111(代)

第85号 2023年7月発行 ホームページ：<https://cancer-c.pref.aichi.jp>

編集：運用部 経営戦略課 企画・経営グループ

「がんセンターNEWS」に関するご意見・ご感想はmail:kohonews@aichi-cc.jpまたはfax：052-764-2963にてお寄せください。
なお、個別の返答は致しかねますので予めご了承ください。

